

<全体分析>

試験時間 90 分

解答形式

記述(70点)・論述(30点)

分量・難易(前年比較)

分量(減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易(易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

大問4題・小問70問・論述2問

出題の特徴や昨年との変更点

時代別では、近代から30%程度、原始・古代、中世、近世からそれぞれ20%程度出題された。

分野別では、政治から40%程度、文化から30%程度、外交から20%程度、社会経済10%程度出題された。

その他トピックス

I Aは2022年度河合塾テキスト夏期講習『京大日本史』第2講I Bがズバリ的中。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I	記述 <史料>	古代・中世・近代 政治	A 平忠常の乱(『小右記』) B 院政期の強訴(『中右記』) C 幕末の政治動向(『若山要助日記』) (3)「郎等」はやや難。(5)「褒賞」は、(注)も参照しつつ「宣旨の趣」が「褒賞の論言」であると判断したい。(6)の短文記述は、史料の読解に加えて平安京と「丹波」の位置関係をふまえて解答したい。(7)「関白」は、(注)から判断できる。(16)「禁門の変」は、「京都から長州藩士や急進派公家らが追放されたこと」を八月十八日の政変と判断し解答したい。(18)「会津」は、「幕府の要職」である京都守護職に就任した松平容保を想起し正解を導きたい。	標準
II	記述 (短文空欄 補充)	古代～近世 総合	①飛鳥文化期の仏像 ②律令税制 ③平城宮と平城京 ④律令制下の教育 ⑤鎌倉時代の皇統の分裂 ⑥琉球王国 ⑦長崎貿易 ⑧近世の絵画 ⑨寛政改革の都市政策 ⑩近世の教育と文芸 基本事項中心の出題であり、高得点が期待される。	やや易
III	記述 (前提文)	原始・古代 ・近世・近代 総合	A 原始・古代における食料備蓄 B 鉄砲と天下統一 C 西園寺公望の人物史 (5)は、「(e) 大阪府法円坂遺跡」が難しいが、消去法を駆使して正解にたどり着きたい。(15)「内大臣」は難。これら以外は基本事項が中心であるため、取りこぼしは避けたい。	やや易
IV	論述	中世・近代 文化・外交	(1) 院政期～鎌倉時代の宗教・文化の受容層の広がり 貴族のみならず武士や庶民も文化の受容層となったことを念頭におきつつ、それぞれの時期の具体例を簡潔に指摘したい。 (2) 日独伊防共協定が日独伊三国同盟に至る経緯・背景 日独伊防共協定、日独伊三国同盟それぞれのねらいの相違を明確化したうえ、両者を結ぶ「経緯・背景」として日中戦争の長期化とその影響を指摘したい。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断し

ています。

<学習対策>

2 / 2

- ① I～Ⅲの記述 70 点、Ⅳの論述 30 点の配点を念頭に置いた学習計画を立てることが大切である。
- ② 全時代・全分野からまんべんなく出題される。I～Ⅲの記述式で高得点を確保するために、教科書を欄外の脚注なども含めてマスターしたい。
- ③ Ⅳの論述問題は対策の有無によって得点差がつく。早い段階から学習対策を立てて問題演習を行い、できる限り添削指導を受けること。
- ④ 史料問題は基本的に未見史料から出題されるが、市販の史料集などを利用して日頃から史料に慣れ親しんでおきたい。
- ⑤ 京都大学特有のひねりをきかせた設問対策として、夏期・冬期・直前講習および京大入試オープン・河合出版『入試攻略問題集 京都大学 地理・歴史』などの積極的な利用を薦めたい。